

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9 時～17 時 (入館は 16 : 30 まで)

休館日 ; 月曜日・休日の翌日 TEL・FAX (0852) 62-1040

■春季企画展 まもなく開館 50 年 ～收藏品が語るたまゆの歴史～



5 月 31 日 (日) まで開催

春季企画展から一口メモ

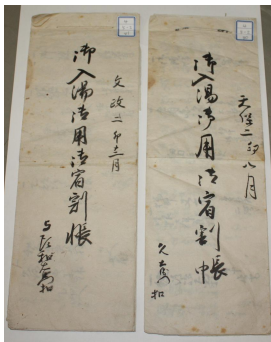
● ボテボテ茶碗

お茶漬けのようなもので、茶碗の中に茶の花を煮出した番茶を注ぎ、ご飯、黒豆、椎茸、沢庵など細かく刻んだものを入れ、専用の茶筌で泡立てたものをそのまま口に流し込んで食べる。つくり始めたのは江戸時代後期の布志名焼が始まった頃と考えられている。



青釉が主流だったボテボテ茶碗は、明治 10 年代に各窯が統合してできた共同窯を廃止してからは燃料を集めるのが難しく、高火度を必要とする青釉の茶碗ができなくなり、明治 24 年頃からは焼成温度の低い黄釉が流行するようになった。

● 『御入湯御用御宿割帳』と『御入湯御用御宿割図』



『御入湯御用御宿割帳』は藩主が玉造御茶屋を訪れる際に随行の家臣の宿割りのために作成された帳面。文政 2 年の八代藩主松平斎恒と天保 2 年の九代藩主斉貴が入湯する際に準備されたもので、それぞれ 140 名、200 名の松江藩士名や役職名、宿泊する家の名前や部屋名が書かれている。

『御入湯御用御宿割図』は家臣の宿割りを示したもので、『御入湯御用御宿割帳』とセットになっており、当時の玉造温泉の元湯、御茶屋、制札場など公的施設や民家とその間取りが描かれ、家臣の役職名や氏名が記してある短冊が割り当てられた部屋に張り付けてあった。天保 2 年の九代斉貴が訪れた時の随行家臣の中には布志名焼の永原与蔵、土屋善六、楽山焼の長岡次助の名前も見える。



参加者募集

★関連事業

片岡館長が展示ガイドをします。

日時 : 5 月 23 日 (土) ①10 時 ②14 時 (各 30 分) 場所 : 出雲玉作資料館 2 階展示室

定員 : 各 20 人 (要申込み) 料金 : 入館料 300 円 (高校生以下無料)



■5月のロビー展

無料

出雲玉作資料館友の会主催

栗原哲朗 春の山野草 展

5月2日(土)~5月31日(日)



■【休館日のお知らせ】

5/7(木) 5/11(月) 5/18(月)5/25(月)

5/3(祝・日)5/4(祝・月)5/5(祝・火)5/6(振休・水)は
開館します。

.....
■6月のロビー展は【伊藤以都子 写真展】です。